



# 独占禁止法教室のご案内

公正取引委員会東北事務所では、各地の中学校・高等学校において、出前授業を開催しています。ぜひ開催を御検討ください。

## 独占禁止法とは？



市場経済においては、事業者が価格、品質を工夫して、自由に競争をすることにより、消費者は様々な商品・サービスの中から、好きなものを自由に選ぶことができます。

独占禁止法は、この「競争」を守る法律であり、経済活動において誰もが守らなければならない基本ルールとして、**私たち消費者の利益と経済社会の発展を支えています。**

教科(社会科、公民(政治・経済)等)で学習した内容と、社会の接点になり、興味・学習意欲を高めます。



学生向けの理解しやすい教材、ゲームや寸劇への主体的な参加により「分かった!」「できた!」と実感できます。

公正取引委員会東北事務所の職員が、**体験**も交えて説明します。消費者教育、キャリア教育としても御活用ください。



- ☒ 費用はかかりません。
- ☒ 人数分の資料を御用意します。

- ☒ 御希望の時期に開催できます。
- ☒ 年間を通じて募集しております。

まずは下記までお問い合わせ（電話、メール、FAX）ください！



**公正取引委員会 東北事務所総務課**

Japan Fair Trade Commission

〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23 仙台第2合同庁舎

TEL : 022-225-7095

FAX : 022-261-3548

Mail : [touhoku-soumu@jftc.go.jp](mailto:touhoku-soumu@jftc.go.jp)



# 授業構成例

## 講師の自己紹介

当日は講師が2名程度でお伺いします。

## 座学

市場経済のしくみ

競争



経済の仕組みを、身近な例を用いて説明します。

## シミュレーションゲーム（グループワーク）

参加者はグループに分かれ、①企業の経営者の立場から、より多くの消費者を獲得できるよう、価格とサービスの戦略を考え発表します（題材例：スマートフォン販売店、ケーキ屋等）。次に、②一人一人が消費者の立場で、どの班から商品を購入したいかを考え、投票します。競争の重要性と企業の苦勞を、楽しく実感することができます。



## 座学

競争が失われると...?

独占禁止法

カルテル・入札談合

企業のカルテルなどにより競争が失われると、消費者が不利益を受けること、公正取引委員会が独占禁止法というルールを用いて、競争を守っていることを、実際に起きた事例なども紹介しながら、説明します。

## 寸劇（模擬立入検査・模擬事情聴取）

学生の方1～2名にもご協力いただき、事業者の不正を取り締まる公取委職員（審査官）に扮して立入検査、事情聴取（取調べ）を体験します。台本・小道具は用意しております。



## 授業のまとめ・質疑応答

※授業構成・内容は、ご要望を伺い、打合せの上、先生の御希望に沿って決定いたします。

授業の1コマ～連続2コマを使って実施することが多いです。クラス数により、複数回の講義も可能です。

## 開催実績

**青森県**：むつ中学校（R元）、油川中学校（R元）、八戸工業大学第二高校・附属中学校（R元）、三沢商業高校（H28）ほか

**岩手県**：大迫高校（R6）、遠野西中学校（R5）、久慈東高校（R3）、千厩高校（R1）、上田中学校（H30）ほか

**宮城県**：志波姫中学校（R5）、農業高校（R4）、柴田農林高校（R1）、上杉山中学校（H31）ほか

**秋田県**：秋田北鷹高校（R3）、新屋高校（H30）、六郷高校（H30）ほか

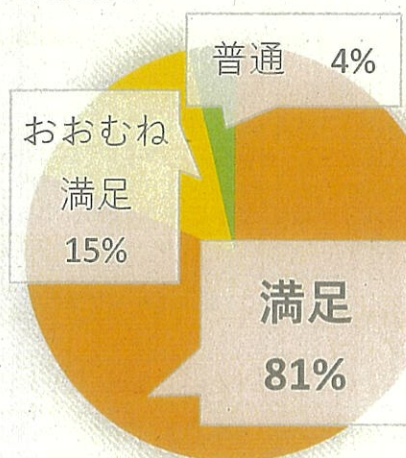
**山形県**：新庄中学校（R5）、鮭川中学校（R5）、八向中学校（R1）、山形商業高校（H30）ほか

**福島県**：清陵情報高校（R4）、郡山萌世高校（R6）、日大東北高校（R4）ほか

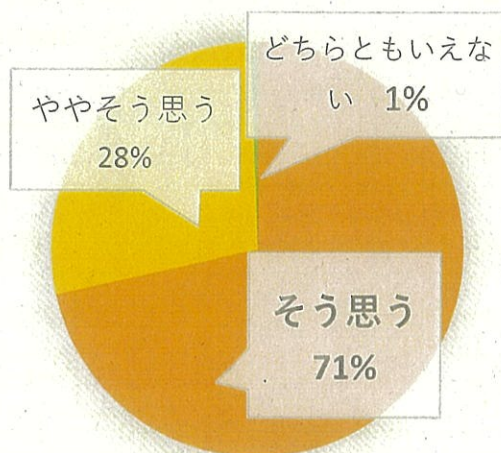


# 独占禁止法教室にご参加いただいた中学生・高校生に聞きました

## ● 独占禁止法教室の満足度



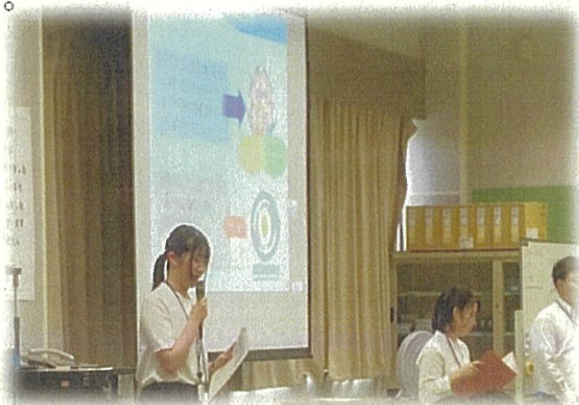
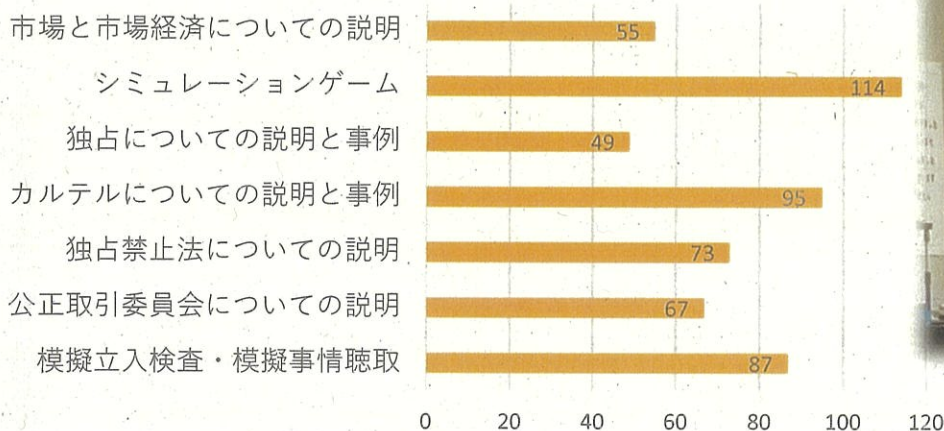
## ● 市場経済の仕組みや企業間の競争について理解が深まりましたか。



(令和6年度 東北地区)



## ● 独占禁止法教室で勉強になったところはどこですか。



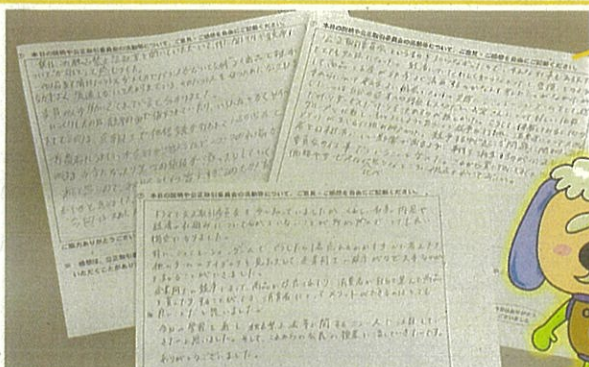
授業の様子（2024年実施）

## ● 生徒の皆様の感想

- ・ 日ごろ「競争」に良いイメージがなかったが、経済においては、よりよい商品・サービスを提供するために、競争がとても大切だということが分かった。
- ・ 競争に勝つためなら何をしてもいいわけではなく、公正なルールが必要だと学んだ。シミュレーションゲームでは、消費者に喜ばれるサービスを提供したいが、赤字を避けなければならないため、価格を決めるのがとても難しかった。
- ・ この授業で消費者と会社の双方の立場を経験することができ、経済の動きに興味が出てきた。賢い消費者になりたい。

## ● 先生の感想

- ・ 公正な社会が、人やビジネスを成長させると思います。
- ・ ゲームや寸劇により、生徒が企業の競争を実体験できたことがよかったです。



公取委マスコット「オットリー長官」